

ニューヨークの年末とカウントダウン

豊澤 幸平

ニューヨークのロックフェラーセンターで華々しく行われたクリスマスツリー点灯式を、今年も日本のテレビで放送していた。ニューヨークではこの時期、寒さも厳しくなり氷点下の日が続くこともしばしばある。街中にクリスマスツリーやイルミネーションが飾られ一年で最も幻想的な雰囲気醸し出し、その中でクリスマス、年末を迎える。

二年間住んでいたニューヨーク・マンハッタンの思い出の一つは、十二月三十一日にブロードウェイの中心にあるタイムズスクエアで行われるカウントダウンである。この周辺は、劇場、レストラン、ショップが立ち並んでおり、カウントダウンは一九〇四年から開催されている伝統行事である。

九・一一の年の十二月三十一日、東京から遊びに来ていた娘と二人で、ニット帽、マフラー、カイロ、手袋、ウィンドブレーカー、ゴム長靴という防寒対策を徹底し、夜の八時にブロードウェイに並び始めたが既にタイムズスクエアは遥か遠くに見えるだけであった。安全を考慮して道路にバリケードを設けており、警官もいるので一度入場し並び始めると例えトイレといえども同じ場所に再入場できないルールである。

タイムズスクエアのメインステージではライブのパフォーマンスが行われており盛り上がっているようだが、残念ながら見え音だけが聞こえる。

ワン・タイムズスクエアの屋上に設置されたクリスタルボールは、ライトで輝く巨大なボールで、これが点灯されるとイベントがスタートする。二十三時五九分になるとボールが動き出す。大きなスクリーンには六十秒前の数字が表示されカウント開始、ボールが少しずつおろる。大歓声飛び交いカウントが「ゼロ」になるとボールは見えなくなり、スクリーンに「HAPPY NEW YEAR!」の文字が映し出される。花火と紙吹雪が舞い最高潮、周りの見知らぬ人達ともハグ、一斉に大歓声をあげる。

同じ場所に寒さの中で四時間も立っているのは苦痛であったが、それも忘れるほど感動的であった。

(二〇二四年十二月)